

2014年1月号

1月15日(水)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 208



厳冬の釧路湿原…

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
昨シーズンと比べて非常に雪の少ない冬が続いている温根内ですが、1月11日には最低気温マイナス20℃を記録し、これから一年で最も寒い時期を迎えます。そんなときは家の中にこもってゆっくりしたいところですが、意を決して早朝の木道を歩いてみるのはいかがでしょうか？突き刺すような寒さの中で、きっと素晴らしい景色に出会えるはずです。

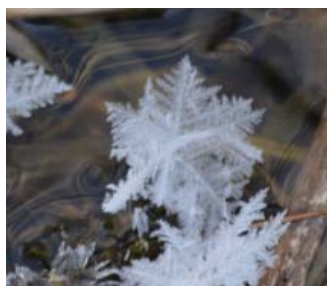
～温根内ビジターセンター 木道周辺の自然情報～



【ガマ】(果穂) 蒲 ガマ科
木道沿いにガマの果穂が崩れて綿毛になっている状態を観察できます。綿毛の先には種が付いていて、風で広がります。昔はこれを集めて蒲団(ふとん)にしていたとか。



【ミズゴケ湿原のでこぼこ】
雪が降り、湿原の表面を覆うと、夏の間は見えにくいミズゴケ湿原の特徴的な地形が見えてきます。盛り上がった部分がブルテ、へこんだ部分がシュレンケと呼ばれます。



【様々な形の霜】
やちまなこや湧水地付近で見られます。霜が花のように見えることからフロストフラワーとも呼ばれます。日光が当たると崩れてしまうので、早い時間帯がおすすめです。



【エゾシカ】(足跡)
冬の温根内周辺で一番目立つ足跡です。4つの蹄(ひづめ)が特徴的で、特に前側の2つの部分が目立ちます。湿原内の「シカ道」もはっきりと確認できます。



【ネズミ類】(足跡)
ネズミ類の足跡は、横並びの2つの足跡が点々と続き、尻尾が真ん中に一本の線を描きます。湿原の中のネズミの足跡はエゾヤチネズミと思われます。



【エゾユキウサギ】(足跡)
2つ並んだ「かんじき」のような大きな後ろ足の跡に続いて前足の跡が前後に並び特徴的な足跡を残します。姿を見ることは少ないですが、足跡でその存在に気づきます。

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

*表紙の写真 上：湿原内のエゾシカ 中左：フロストフラワー 中右：ケアシノスリ 下：夕日に照らされるヨシ

～温根内ビジターセンター周辺の鳥～

森の中ではカラ類の混群、開けたところで見上げるとオオワシやオジロワシ、ワタリガラスなどが観察できます。湧水地周辺ではタンチョウの足跡が見えることもあります。冬の良く晴れた日は双眼鏡を持って木道を歩いてみましょう。(貸し出し無料)



【オオワシ】
大鷲 タカ科
北海道には冬鳥として極東ロシアより渡ってくる大型のワシ類で、羽を広げると2m以上あります。木道上空を飛んでいる姿を見ることができます。



【ワタリガラス】
渡鴉 カラス科
「グルル…」や「カボン…」などとよく通る特徴的な声で上空の存在に気づきます。北米では神様として様々な言い伝えのある人気の冬鳥です。



【エナガ】(亜種シマエナガ)
柄長 エナガ科
ハノキ林や周辺の丘陵地で群れになって餌を探しながら飛び回っています。「ジユレ…」という地鳴きが聞こえたら探してみましょう。 留鳥



【タンチョウ】(足跡)
丹頂 ツル科
冬でも凍らない湧水地で餌を探している様子がわかります。絶滅したと思われていたタンチョウが再発見されたのもこのような湧水地でした。 留鳥

○温根内木道周辺で観察された鳥(12月15日～1月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順
■オオハクチョウ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■オオタカ■ノスリ■ケアシノスリ■コゲラ■アカゲラ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ワタリガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■セグロセキレイ■シメ

☆☆温根内木道 旬の自然を楽しもう♪「アニマルトラッキング」☆☆

湿原に雪が積もるとその上には様々な動物たちの「痕跡」が現れます。普段なかなか出会うことのできない動物たちの存在を確認することができる絶好の季節なのです。今回は温根内木道周辺で見られる動物の痕跡探し(アニマルトラッキング)をご紹介します。



キタキツネの足跡

痕跡と一口に言ってもいろいろあります。一番見つけやすいのは「足跡」でしょう。夏の間は目立たない足跡も、雪が降ると雪の上にははっきりと残され、形状や大きさから主を特定することもできます。自然情報の中でご紹介したほかにもキタキツネやアメリカミンクなどが比較的見つけやすい足跡です。



アメリカミンクの足跡

「食痕」は何者かが食事をした痕跡のことで、草や樹の



猛禽類がネズミを捕えた痕跡

弱肉強食の野生の瞬間をはっきりと想像できるような動きのある痕跡に遭遇することもあります。

その他にも「糞」を見ることでその主や何を食べているのかということも推察できます。

一つ一つがばらばらな痕跡ですが、いろいろと想像しながらつなぎ合わせていくと、驚くほど鮮明に野生動物の営みを知ることができます。そして、痕跡をたどっていくとその主に出会うこともあるかもしれません。



上: エナガの糞
下: エノキウサギの糞

☆☆☆☆毎年恒例♪ 新春餅つき大会が行われました☆☆☆☆



1月11日(土)、毎年恒例になりました「ボランティアレンジャーの会 新春餅つき大会」が開催されました。今年で19回目を迎えるこの餅つき大会にはパークボランティアの方々やその家族、環境省の職員など40名を超える多数の参加があり、たいへん盛り上がりました。できたてのお餅はお雑煮にして食べたり、蓬餅、豆餅、大福などを作り、一人一人にお土産として手渡されました。餅つきが初めての人、数十年の経験がある人など様々でしたが、力を合わせて作ったお餅はとてもおいしく出来上がり、今年の活動を占うかのようでした。

☆☆☆☆イベントのご案内(2月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込みはこちらまで ☎0154-65-2323

♪歩くスキーで冬の湿原ハイク(釧路市博物館共催)

〔日時〕2月9日(日) 10:00~12:00

〔定員〕20名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

温根内木道周辺を歩くスキーを楽しみながら釧路市博物館の学芸員が案内します。今年は昆虫、植物、鳥の専門家がやってきます。いつもより定員は多いですが、お申し込みはお早目に。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

⇒お申し込みはこちらまで ☎015-487-3003

♪冬の塘路湖畔散策

〔日時〕2月15日(土) 10:00~12:00

〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

冬の塘路湖の周りを歩き、植物を観察したり、動物の痕跡を探したりします。



今年も歩くスキーの無料貸し出しを始めました♪

1月12日(日)より歩くスキーの無料貸し出しを始めました。12日時点では積雪が少なく、木道上でのスキーは楽しめませんが、鶴居軌道跡と新釧路川右岸堤防コースは十分に楽しめます。植生保護の観点から湿原内でのご利用は基本的にご遠慮いただいております。詳しくはビジターセンタースタッフまでお問い合わせください。

※近隣施設の釧路市湿原展望台の遊歩道が損壊のため一部閉鎖になっております。温根内から湿原展望台まで歩く場合は注意が必要です。詳細は湿原展望台までお問い合わせください。Tel 0154-56-2424

今年もよろしくお願ひいたします。



エソノタチツボスミレ(6/16)

今年も温根内木道の自然情報を発信しながら、釧路湿原の魅力をお伝えしたいと思います。

月刊 温根内通信 No.208

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036

北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00~16:00(4月~10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29~1/3は休館) 入館無料